

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

科学的根拠 (evidence) に基づく白内障診療ガイドライン

厚生科学研究費補助金 (21 世紀型医療開拓推進研究事業: EBM 分野)

(分担研究者: 茨木信博 日本医科大学付属千葉北総病院眼科教授)

日本白内障学会誌 Vol.16 別冊 2004、平成 16 年 7 月 10 日発行

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

I: ランダム化比較試験のメタ分析

II: 1 つ以上のランダム化比較試験

III: 非ランダム化比較試験

IV: コホート研究/症例対照研究

V: ケースシリーズ/ケースレポート

VI: 患者データに基づかない専門委員会や専門家個人の意見

Grading Scale of Strength of Recommendation

A: 行うよう強く勧められる

B: 行うよう勧められる

C: 行うか、行わないか勧められるだけの根拠が明確でない

D: 行わないよう勧められる

■1 八味地黄丸、2 牛車腎気丸

疾患:

白内障

CPG 中の Strength of Evidence:

Ⅲ: 非ランダム化比較試験

CPG 中の Strength of Recommendation:

C: 行うか、行わないか勧められるだけの根拠が明確でない。

引用など:

尾羽沢大. 眼疾患に対する漢方の適応について 白内障. 医薬ジャーナル 1990; 26: 1853-6.

有効性に関する記載ないしその要約:

白内障の薬物療法: 内服 (国内認可薬物) のうち、漢方薬は、八味地黄丸、牛車腎気丸に適応があり、その研究結果として下記の記載がある。

『勧告 (ガイドライン)

漢方薬は、白内障に対する効果に科学的根拠が無いので、一般的な使用は勧められない。

エビデンス

漢方薬は、八味地黄丸、牛車腎気丸に適応があるが、ランダム化比較試験はなく、有効性が明らかではない。』

■3 牛車腎気丸

疾患:

老人性白内障

CPG 中の Strength of Evidence:

III: 非ランダム化比較試験

引用など:

尾羽沢大. 眼疾患に対する漢方の適応について 白内障. 医薬ジャーナル 1990; 26: 1853-6.

有効性に関する記載ないしその要約:

老人性白内障 32 例を対象にした研究について下記の記載がある。

『目的と方法: 牛車腎気丸の白内障進行防止効果

牛車腎気丸 7.5g/日。カタリン点眼。徹照像混濁面積定量し、1 年間での増加率を算出。統計手法記載なし。

結果: 混濁増加率は牛車腎気丸 + カタリン 0.75%/年、両薬 (-) 2.95%/年、牛車 (+): 牛車 (-) =1.24: 2.48%/年』